

2. ボランティアコーディネート

ボランティア・NPO活動センターでは、ボランティア活動を希望する学生へ情報提供等を行い、地域団体からはボランティア募集の相談に応じるなど、この兩者をつなぐ役割を担っています。

センターには学生スタッフが所属しており、相談に来室する学生の初期対応を担い、同じ学生ならではの視点でボランティア活動の紹介を行っています（ピアサポート）。また、これらの活動を通して、学生スタッフ自身の成長にもつながっています。その他の専門的な知識が必要なケースはコーディネーター（職員）が対応しています。様々な相談対応を通して、ボランティアへの理解と参加の促進に努め、これを「ボランティアコーディネート」と呼んでいます。

大学内にセンターが存在することにより、学生や教職員の自発的かつ主体的なボランティア活動へのアクセスが容易となり、地域貢献にもつながっています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、前期はオンライン授業となりました。学生の入構が禁止されたり、対面での課外活動が制限されたりしたこともあり、相談件数は半減しました。しかし対面での相談ができない代わりに、電話、メール、オンラインツール等を活用した相談対応を行ったり、Twitterに設置した質問箱で質問を受け付けたりと、これまでとは異なる形のボランティアコーディネートを摸索した1年でした。また、広報手段もこれまではチラシの配布・配架、ポスター掲示が中心でした。しかし、今年度はSNSやホームページなどを活用し、動画作成にも取り組むなど、オンラインの広報を中心に取り組みました。今後も状況を見ながら、学生の希望に沿ったボランティアコーディネートや広報ができるよう、試行錯誤を続けていきます。

○ボランティアコーディネート集計（月別、活動希望分野別、学部別相談者数）

■月別相談者数（複数回答あり）

(件数)

月	ボランティア相談		学生スタッフ相談		センター企画相談		情報収集		その他		計
	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
6月	1	0	2	15	1	0	0	0	0	14	33
7月	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10	20
8月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
9月	1	12	1	3	3	0	0	5	24	2	51
10月	14	9	24	14	0	0	4	6	23	5	99
11月	10	11	2	8	0	0	2	1	2	0	36
12月	8	1	3	0	0	0	0	0	0	2	14
1月	5	1	0	0	0	1	0	0	0	2	9
2月	6	4	0	0	0	0	0	1	1	2	14
3月	5	4	0	0	0	0	0	2	0	0	11
合計	51	42	33	51	5	1	6	15	50	38	292

■活動希望分野別相談者数（複数回答あり）

(件数)

希望分野	相談者数		計
	深草	瀬田	
子ども・青少年	41	31	72
高齢者	8	9	17
障がい児・者	12	10	22
医療	5	1	6
国際協力・交流・在住外国人支援	37	6	43
人権	10	0	10
貧困	11	3	14
環境	25	13	38
災害	15	5	20
文化・芸術	14	1	15
スポーツ	9	5	14
動物愛護	15	1	16
平和	8	3	11
まちづくり	26	14	40
中間支援	1	0	1
その他	49	20	69
合計	286	122	408

■学部別相談者数

(件数)

所 属	相談者数		計
	深草	瀬田	
文学部	20	0	20
経済学部	35	1	36
経営学部	8	1	9
法学部	33	4	37
理工学部	0	4	4
先端理工学部	0	2	2
社会学部	0	49	49
政策学部	6	2	8
国際文化学部	0	0	0
国際学部	24	2	26
農学部	0	40	40
短期大学部	6	1	7
大学院	0	0	0
他大学	0	0	0
教員	0	0	0
職員	0	0	0
無記入	0	0	0
合計	132	106	238

○団体登録制度とボランティア募集情報シート

ボランティア・NPO 活動センターでは、ボランティアを募集する団体との協力・連携の体制を整備し、その団体の活動内容を把握することを目的として、団体登録制度を設けています。

学内でのボランティア募集情報の提供は、「団体登録票」を提出していただいた登録団体に限定しています。また、登録団体から広報依頼を受けたボランティア募集チラシは記載情報（実費弁償や活動保険の有無など）にばらつきがあるため、ボランティア相談に来室する学生に対してより詳しい内容の情報を提供することを目的として、ボランティア募集情報シートを主に学生スタッフが作成し、活用しています。

これらは、ピアサポートの視点で学生スタッフによるコーディネーターを目指している中、彼らが授業の空き時間などを各自調整してシフトを組み、ボランティア相談に対応している現状においても、情報を共有しやすい方法だと考えています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により多くの団体がボランティアの受け入れを中断されていました。そのため、団体登録自体の数も大幅に減少しました。状況が刻々と変化する中、登録団体のボランティア受け入れ状況の把握に努め、感染症対策をどのように講じて活動されているのかについてもヒアリングしました。ボランティアの受け入れを中断されている状況でも、こうして連絡を取り、関係を維持することで、活動が再開されたときに、より一層の連携が図れるのではないかと考えます。

しばらくは、多くの団体でコロナ禍以前のようにボランティアを受け入れることができない状況が続くはずですが、しかし、ボランティアに行きたいという学生のニーズにもこたえられるよう、情報の収集に努め、団体と連携した活動の摸索をしていきます。

■団体登録数

(件数)

分野	京都府	滋賀県	その他 関西圏	関西圏以外	計
子ども・青少年	22	19	9	5	55
高齢者	2	4	1	0	7
障がい児・者	13	14	1	0	28
医療	2	1	1	0	4
国際協力・交流 在住外国人支援	5	2	2	2	11
人権	0	0	0	0	0
貧困	1	1	0	0	2
環境	6	4	1	3	14
災害	1	0	0	0	1
文化・芸術	2	1	0	0	3
スポーツ	0	0	1	0	1
動物愛護	0	0	0	0	0
平和	1	1	0	0	2
まちづくり	8	1	0	0	9
中間支援	2	4	1	1	8
その他	1	3	1	0	5
合計	66	55	18	11	150

○外部団体来室内容と広報依頼件数

ボランティア・NPO 活動センターには、地域の団体からボランティア募集やイベント・講座・セミナーなどの広報依頼があります。その他にも、

国や他大学からの視察、行政との連携にかかる相談、様々なケースの来室に対応しています。今年度の主な受付内容は以下のとおりです。

■相談内容別（1件あたり複数内容の受付あり）

(件数)

相談内容	深草	瀬田	計
広報依頼（ボランティア募集）	66	62	128
広報依頼（ボランティア募集以外※）	292	196	488
視察・ヒアリング	2	0	2
取材	10	5	15
その他	30	36	66
合計	400	299	699

※講座、セミナー、イベント開催案内、ニュースレター等

■受付団体種別

(件数)

受付団体	深草	瀬田	計
一般個人	0	0	0
学内	3	5	8
NPO 法人	84	46	130
社会福祉法人	66	62	128
一般社団・財団法人	13	8	21
公益社団・財団法人	57	67	124
その他の非営利法人	18	6	24
任意団体	19	29	48
幼稚園・保育園等	0	0	0
児童館・学童保育	1	0	1
小・中・高	0	1	1
特別支援学校等	0	0	0
教育委員会	5	10	15
他大学・専門学校	24	12	36
企業	38	31	69
公共施設・社会教育施設	29	10	39
行政機関	43	11	54
その他	0	1	1
合計	400	299	699

■広報依頼分野別(複数回答あり)(件数)

広報依頼分野別	深草	瀬田	計
子ども・青少年	63	66	129
高齢者	1	0	1
障がい児・者	10	11	21
医療	2	4	6
国際協力・交流 在住外国人支援	59	34	93
人権	3	1	4
貧困	1	3	4
環境	29	35	64
災害	17	13	30
文化・芸術	3	0	3
スポーツ	2	0	2
動物愛護	0	0	0
平和	0	0	0
まちづくり	25	13	38
中間支援	25	0	25
その他	94	94	188
助成金	11	15	26
総合情報	103	17	120
ニュースレター	197	149	346
合計	645	455	1,100

○チラシの配架やポスターの掲示

数あるボランティア情報やイベント・講座・セミナーなどの情報を多くの学生に提供するために、パンフレットスタンドにチラシを見やすく配架し、センターの掲示板に情報を掲示しています。

センター事務室内外に設置したラックのチラシ整理や掲示板の管理などは、学生スタッフが中心となってコーディネートシフト中に行っており、利用する学生に向けた見せ方や配置などのアプローチを工夫しています。



○講義やゼミ(演習)でのセンター紹介

センターではボランティア活動のきっかけ作りを目的として、講義やゼミ(演習)の中で、センターの紹介を行っています。

教員が希望する時間内で、ボランティアコーディネーター(職員)や学生スタッフがセンターを案内し、センターの活用方法等を紹介しています。ボランティアに関心があってもなかなかセンターに来室するまでに至らない学生に、大学でボランティアの相談ができる場所があるということを知る良い機会となっており、今後も継続していきたい事業です。2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により授業がオンラインで行われたこともあり、依頼件数は例年と比べると大幅に減りました。

【センター紹介実施一覧】

	日	対象学部	担当教員	科目名等
1	9月30日(木)	法学部	井出 真也	基礎演習
2	10月7日(木)	経済学部	伊達 浩憲	基礎ゼミ



○ホームページ

センターの自主事業や、東日本大震災等復興支援に関する活動を積極的に発信しています。今後も閲覧する方にとって情報を得やすく、ボランティアクーディネートの活動のきっかけとなるようなホームページ運営を行っていききたいと思います。



Facebook



Twitter



ホームページ



○ボランティアクーディネート・NPO 活動センター通信

学内向けのニュースレターを4月と12月に発行しました。センターの自主事業や学生の各種活動の報告と予定のお知らせ、センター紹介の案内などを掲載しました。

○SNS (Facebook、Twitter)

深草と瀬田両キャンパスのコーディネーターと学生スタッフが協力しながら、タイムリーな情報発信を随時行いました。各種センター事業、学生企画に関する情報だけでなく、学生スタッフの日常などを切り取り、センターをより多くの方に知っていただくように工夫しています。

今年度より、学生スタッフの提案でTwitterに「質問箱」を設置し、学生からの気軽な質問を受け付けました。結果、20件の質問がありました。また、「ついでと大作戦」と称し、頻りにTwitter投稿したことでフォロワー数が増加しました(2020年4月769フォロワー→2021年3月923フォロワー)。

【Facebook 配信数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
配信数	7	3	3	3	5	4
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配信数	9	4	10	4	7	7
					合計	66

【Twitter 配信数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
配信数	12	42	56	39	20	22
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配信数	38	41	47	35	82	48
					合計	482